

六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校
令和元年9月10日(火)No.6
E-mail isobesho@itoigawa.ne.jp
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/otayori/>

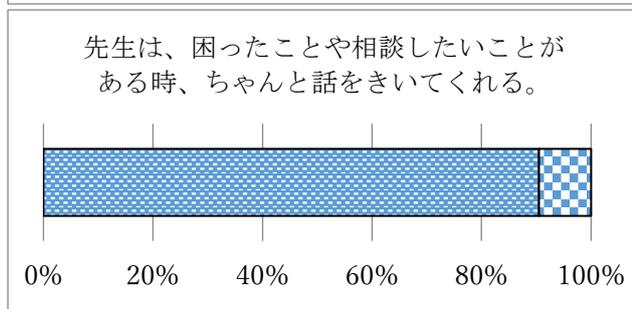
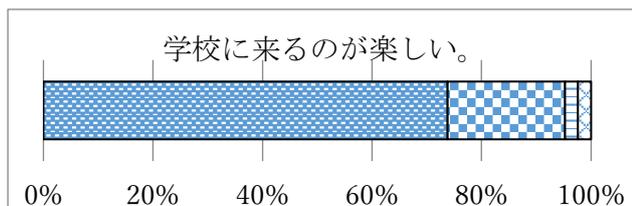


教育目標 学び続ける子 互いに認め合う子 健やかに育つ子

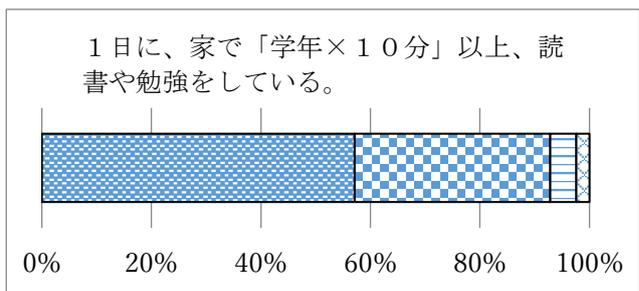
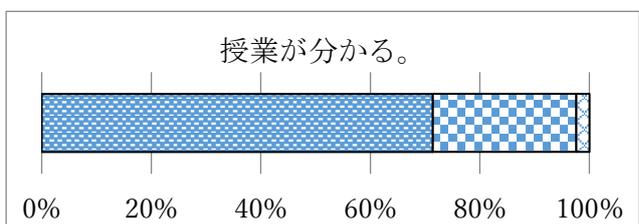
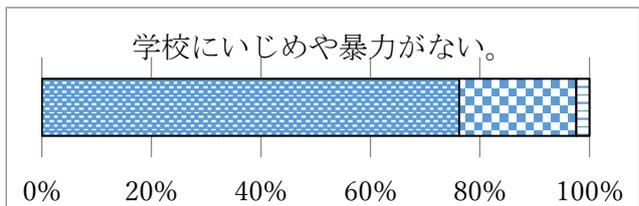
学校評価アンケートの結果より

2学期のスタートにあたり、学校では、1学期の取組を振り返りました。7月に実施した「学校評価アンケート」では、全校児童42名に自らの姿を振り返ってもらいました。また、保護者の皆様からもアンケートにご協力をいただきまして、ありがとうございました。

1 糸魚川市共通評価項目



■はっきりにイイ ■だいたいイイ ■少しイイ ■はっきりにイイ



この5項目の結果は、「子どもたちにとって居心地のよい学級・学校かどうか」ということについての子どもからの声と受け止めています。どの項目でも、90%以上の子どもたちが肯定的に評価しています。学校が楽しく、学ぶ楽しさを感じていれば、家庭での自主的な学習への意欲にもつながると考えます。子どもたちにとって、居心地のよい学級・学校になるよう、子どもたちと職員で「楽しい学校」を目指していきます。

次にそれぞれの質問項目の結果を示します。数値は%です。()内の数値は、人数になります。

2 確かな学び（目標数値 90%） ※色つきは、目標数値に達しない項目

①「難しい問題でもあきらめずに考えることができる」

	はっきりはい	だいたいはい	少しいいえ	はっきりいいえ
児童	69(29)	21(9)	7(3)	2(1)
保護者（学習支援）	31(13)	62(26)	7(3)	0(0)

②「話をよく聞き、進んで発表している」

	はっきりはい	だいたいはい	少しいいえ	はっきりいいえ
児童	55(23)	33(14)	7(3)	5(2)
保護者（話合う時間）	36(15)	64(27)	0(0)	0(0)

③「地域の人・もの・ことへのかかわり」

	はっきりはい	だいたいはい	少しいいえ	はっきりいいえ
児童（進んで表現）	71(30)	19(8)	7(3)	2(1)
児童（地域のための活動）	55(23)	38(16)	5(2)	2(1)
児童（地域が好きか）	74(31)	24(10)	0(0)	2(1)
保護者（地域への参加）	29(12)	62(26)	10(4)	0(0)

⇒児童の肯定的評価は、概ね90%を上回っています。ただし、進んで発表の項目では「いいえ」と答えた児童が他の項目より多いです。発表することに苦手意識をもっていることがうかがえます。

⇒生活科や総合での活動を通して、地域とかかわり、地域に学ぶ学習によって「磯部を愛する子ども」が育っていることが感じられます。ここでも進んで表現、自ら活動では「いいえ」と答える児童がいます。

3 豊かな心（目標数値 90%）

①「あいさつをする」

	はっきりはい	だいたいはい	少しいいえ	はっきりいいえ
児童	74(31)	24(10)	0(0)	2(1)
保護者（大人が進んで）	60(25)	40(17)	0(0)	0(0)

②「いじめ見逃しゼロ」

	はっきりはい	だいたいはい	少しいいえ	はっきりいいえ
児童（しないさせない）	79(33)	12(5)	5(2)	5(2)
児童（嫌なことしない）	76(32)	7(3)	7(3)	10(4)
保護者（友達関係）	48(20)	50(21)	2(1)	0(0)

⇒あいさつについては、児童の肯定的評価は94%で目標数値90%を上回っています。し

かし、地域からの声にもあるように、地域でのあいさつの状況は課題があります。
⇒いじめに関係して「いじめをしない させない 見逃さない」は意識しているものの、日常の友達のかかわりでは「いいえ」と答える児童がいることから日常的な指導を継続させる必要があります。

4 健やかな体（目標数値 90%）

①「メディア時間を2時間以内にする」

	はっきりはい	だいたいはい	少しいいえ	はっきりいいえ
児童	38(16)	26(11)	24(10)	12(5)
保護者（家庭のルール）	33(14)	48(20)	14(6)	5(2)

【親子で生活をチェックしていただいた生活リズムアンケートより】

	平日（人）	休日（人）
寝る時刻 10時以降	7	13
テレビの時間 2時間以上	16	28
ゲーム、ネット 2時間以上	6	21

▶携帯電話、スマホ、ipadの所持率

持っていない28人、自分のもの3人、親のもの11人

▶我が家のルール

ルールあり守っている20人、ルールあるが守ってない19人

ルールなし3人

⇒能生地区の小学校と比べてもメディア2時間以内の達成率が低いです。帰宅後、就寝時間までの時間の使い方を自分で管理できる子どもを育てなければいけません。

②「めあてに向かって運動に取り組む」

	はっきりはい	だいたいはい	少しいいえ	はっきりいいえ
児童（取組）	79(33)	19(8)	0(0)	2(1)
児童（休み時間）	60(25)	31(13)	5(2)	5(2)
保護者（休日の支援）	40(17)	43(18)	14(6)	2(1)

5 地域（学校運営委員、民生委員・児童委員）方からの声

①子どもの成長

- ・地引き網体験の時に上級生が下級生をよく見てなだめたりほめたりとてもよく面倒を見ていた。それに対して下級生もがんばってついて行こうと努力していた。
- ・地引き網体験は漁師さんとのふれあいや一生懸命に魚を捌いて食して、縦割り班で協力し合い成し遂げた姿はとても素晴らしく印象に残っている。
- ・遠足で1年から6年まで粘り強く黙々と歩いていた姿、最後まで頑張っている姿は1年生には心に残る行事だった。
- ・地域に積極的に出て学ぼうとする姿は素晴らしいと思う。
- ・1年生の元気が全学年に影響を与えているようで今後に期待している。
- ・駅伝マラソンで一生懸命走る姿を見て成長を感じた。

②子どもの課題

- ・ あいさつに元気がない（覇気がない）。中には素晴らしいあいさつができる子もいるがごく少数であるのが残念。あいさつがよいと磯部地区が活性化する。
- ・ 小さな学校でよく見られる傾向だが、どの子もみな細々と育っていて競争心がない。子どもの数（兄弟姉妹）も少ないので負けられないとか負けたくないという気持ちを育てていくには難しい。
- ・ より大勢の人達のいる場で自信を持って意見を言えるかどうか。
- ・ 少人数のクラスでの学び合いには、限界があるのではないかと。いかに刺激を与えるかが課題だと思う。
- ・ あいさつがきちんとできて、素直な子に豊かな心が第一。

③「学校運営」、「学校・学級行事」

- ・ 今年から地区全体の運動会になりとてもよかった。高齢者も若人も競争するということはみんなが楽しくなると思う。
- ・ 地域とともに協力し合い、成功した運動会。とてもよかった。元気な姿を地域の方々に見ていただけて大成功だった。
- ・ 行事に地域を巻き込むようになったのはよかった。
- ・ 地域とのつながりを進めていて嬉しい限り。
- ・ 「地域の皆様へ」というたくさんのおたよりが回覧としてくるのはとてもいい。たくさん行事に参加したい。
- ・ 父兄や役員にあまり無理のないスケジュールを。

④「家庭・地域のとの連携」「PTA活動」

- ・ 保護者が会社に行くことも大切ですが、今しか見ることができない子どもの成長を保護者にも見てほしい、PTAに出席してほしい。子どもにたくさんかかわってほしい。
- ・ 地域での行事に親子で協力してくれる。地域の宝であると感じた。
- ・ PTA活動は地域とともにあるという感じを受ける。草刈りなど地域の方のおかげでPTA活動もいい方向へと進んでいるように思う。これからも子どもたちと地域の方で押し上げていきたい。
- ・ 地区行事に親子で積極的に参加していてとてもよい。
- ・ 会員数が少なく、顔が見えるPTAは柔軟な発想で活動できていると思う。
- ・ PTA活動は父兄が少ない中で大変だろうと感じた。
- ・ 子どもが少なく、地域活動も少なく参加が難しい。

学校、家庭、地域で子どもたちの成長を見守っていきましょう。

学校評価を受け、2学期は次のことに重点をおき指導していきます。

1 確かな学び

互いに考えを深め合える授業

- グループで発表し合うことにより考えが深まる様子が見られたことから、今後も継続していきます。少人数ではありますが、一人ひとりの意見を大切にして授業を進めます。
- 自信をもって考えを伝えたり発表したりするには、まず自分の意見をもつことが大切です。そこで、自分の考えを書きまとめる時間を大切にします。また、安心して発表できるように相手意識をもった聞き方を指導していきます。

ふるさと磯部を中核としたキャリア教育

- 同学年の他校交流を行うことで刺激となり、学習意欲や学習態度が高まりました。2学期も積極的に他校と交流します。
- 自己肯定感を高めるために、振り返りの時間を大切に、活動を意味づけ、友達と認め合える活動を大切にします。
- 話し手と聞き手の相互作用により、発表の質を高める工夫をしていきます。話し手は、声の大きさ、抑揚など「相手に伝える」気持ちを大切に、聞き手は、内容に関する意見や質問が言えるように一方通行の発表にならないように指導します。

望ましい学習習慣の定着

- 学期はじめに、話し方・聞き方のルールの確認をします。
- 定期的に学習用具（筆箱・下敷き）の点検を行います。
- 自学の取り組みがよくなってきました。学習後の気付きを自分の言葉でまとめたり学習した内容に関係するプラス学習に取り組んだりできるようになってきました。2学期は、がんばりカードにオリジナル自学欄を増やして、ドリルだけでなく自分で工夫し、見通しをもって取り組めるようにしていきます。家庭学習が定着していない児童には、個別に進捗状況を確認したり自学の進め方を助言したりしていきます。

2 豊かな心・健やかな体

相手の気持ちを考えたあいさつや言葉づかい

- 学校や友達どうしのあいさつは元気よく気持ちのよいあいさつができています。地域でもあいさつができるよう指導していきます。

かかわり合い、互いのよさを認め合う活動

- 日常のかかわりで、いじめゼロと感じていない子が4名いました。少人数がゆえに、固定的な人間関係をもっているため、ついつい言葉がきつくなったり自分の気分で友達に当たってしまったりする様子がみられます。みんなが楽しく居心地のよい学校にするために学年間でだけでなく異学年との遊ぶ時間をつくるなど人間関係を深めていきます。

よりよい生活習慣の確立（メディア2時間以内）

- 能生地区の他校と比べると、メディア時間達成率・就寝時刻達成率共に低い状況にあります。9月の児童集会では、保健委員会から全校児童へ啓発を行います。また、PTAとしても9月30日フリー参観日に合わせて親子学習会を行います。